

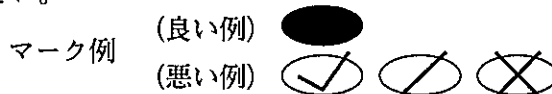
令和5年度（令和4年度実施）
高知県公立学校教員採用候補者選考審査
筆記審査（専門教養）

中学校 高等学校 特別支援学校 中学部・高等部
音楽

受審番号		氏 名	
------	--	-----	--

【注意事項】

- 1 審査開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見ないでください。
- 2 解答用紙（マークシート）は2枚あります。切り離さないでください。
- 3 解答用紙（マークシート）は、2枚それぞれに下記に従って記入してください。
○ 記入は、HBの鉛筆を使用し、該当する○の枠からはみ出さないよう丁寧にマークしてください。



- 訂正する場合は、消しゴムで完全に消してください。
- 氏名、受審する教科・科目、受審種別、受審番号を、該当する欄に記入してください。

また、併せて、右の例に従って、受審番号をマークしてください。

受 審 番 号				
万	千	百	十	一
1	2	3	4	5
○	○	○	○	○
●	○	○	○	○
○	●	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○

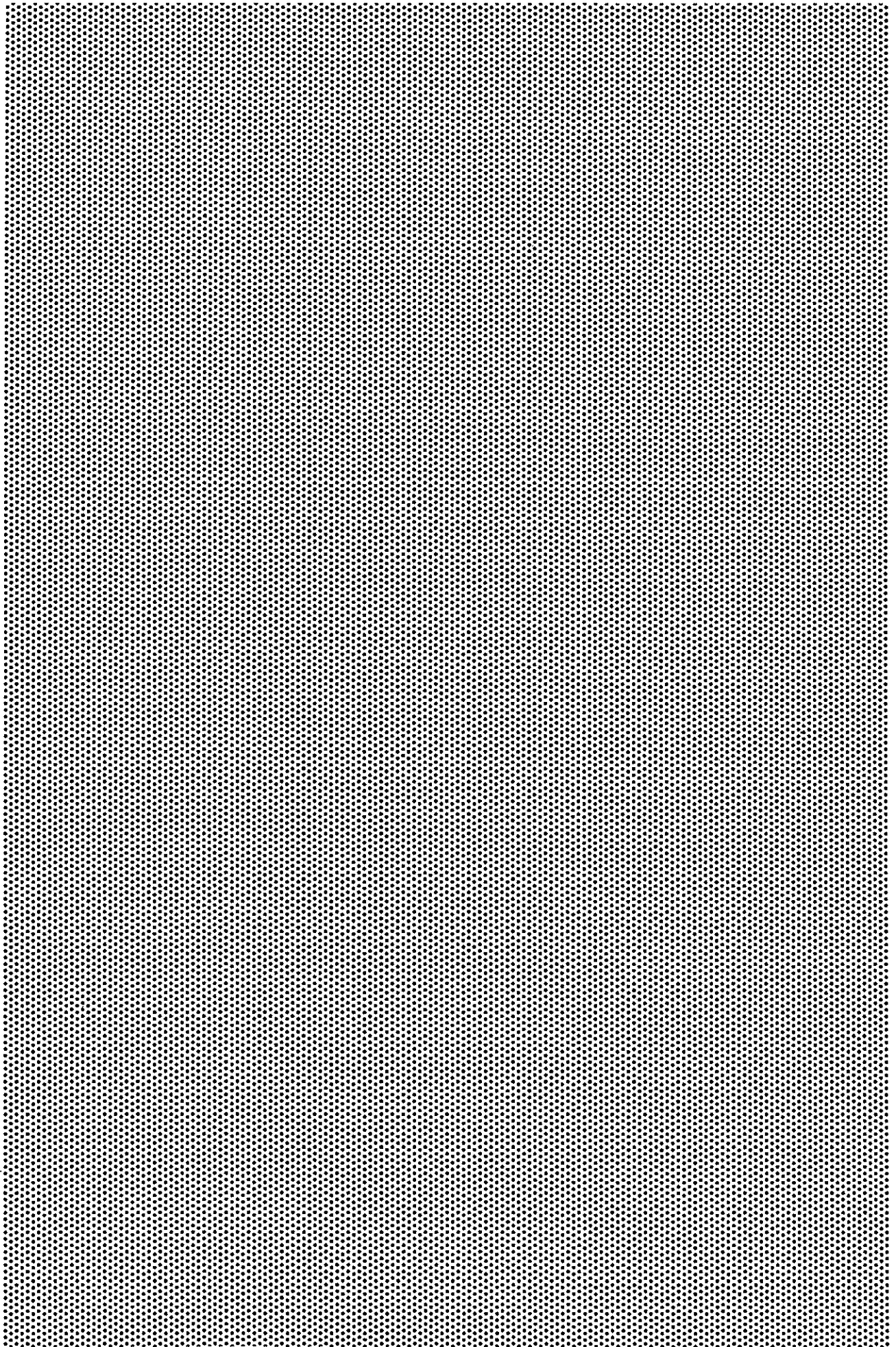
記入例

(受審番号12345の場合)

- ※ 正しくマーク（正しい選択問題への解答及びマーク）していないと、正確に採点されませんので、注意してください。

- 4 この問題は、【共通問題】、及び【選択問題 中学校】、【選択問題 高等学校】、【選択問題 特別支援学校】の各問題から構成されています。選択問題で受審種別以外の問題を選択して解答した場合、解答は全て無効となります。

※本冊子の裏表紙に、【注意事項】の続きが記載されています。本冊子を裏返して、必ず読んでください。まだ、問題冊子は開かないでください。



【共通問題】

第1問 次の1～3の問いに答えなさい。

1 音程に関して、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 次の楽譜に示す音程を、下のa～dから一つ選びなさい。



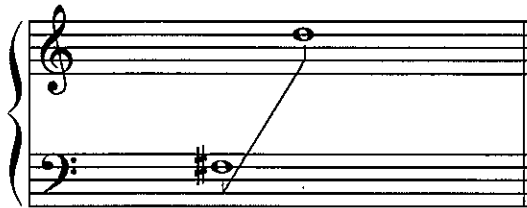
a 完全4度 b 減4度 c 増4度 d 重増4度

(2) 次の楽譜に示す音程を、下のa～dから一つ選びなさい。



a 重増5度 b 増5度 c 完全5度 d 減5度

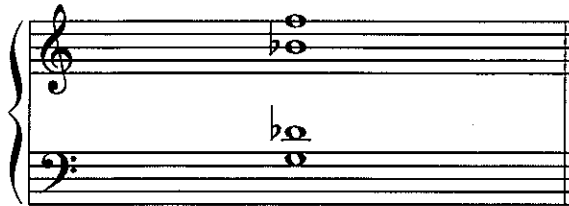
(3) 次の楽譜に示す音程を、下のa～dから一つ選びなさい。



a 1オクターブと減6度 b 1オクターブと短6度
c 1オクターブと長6度 d 1オクターブと増6度

2 和音・コードネームに関して、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

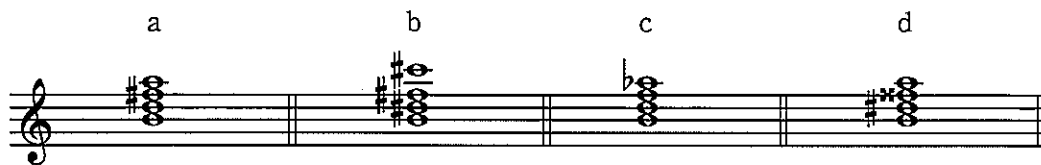
(1) 次の楽譜に示す和音は何調の何度の和音か。下のa～dから一つ選びなさい。



- a 変ロ長調のⅦ₇の和音 b ト長調のⅠ₇の和音
c へ短調のⅡ₇の和音 d 変ホ短調のⅢ₇の和音

(2) 次のコードネームで表される和音を、下のa～dから一つ選びなさい。

Baug7



(3) 次のコードネームで表される和音を、下のa～dから一つ選びなさい。

D^bm6



3 調性に関して、次の(1)～(4)の問いに答えなさい。

(1) イ短調の同主調の平行調を、次のa～dから一つ選びなさい。

- a ハ長調 b へ短調 c 嬰へ短調 d ハ短調

(2) 次の楽譜に示す4つの音を全て含む音階を、下のa～dから一つ選びなさい。



- a 嬰ハ短調の和声短音階 b 嬰へ長調(長音階)
c ロ長調(長音階) d ホ短調の旋律短音階(上行形)

(3) 次に示す楽譜をe-mollからg-mollに移調した楽譜として適切なものを、下のa～dから一つ選びなさい。

第2問 次の1～3の問いに答えなさい。

1 音楽用語等に関して、次の(1)～(4)の問いに答えなさい。

(1) 「今までより遅く」という指示の音楽用語を、次のa～dから一つ選びなさい。

a meno mosso b veloce c più mosso d non troppo

(2) 速度に関する用語のうち、最も速度が遅いものを、次のa～dから一つ選びなさい。

a Lento b Lentissimo c Vivacissimo d Andantino

(3) 「arioso」の意味として適切なものを、次のa～dから一つ選びなさい。

a 優雅に b 歌うように c 快活に d 愛情をもって

(4) 「感情をこめて」を意味する音楽用語を、次のa～dから一つ選びなさい。

a nobile b risoluto c dolce d con sentimento

2 次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 次の文は、リトルネッロ形式について説明している。文中の(①)・(②)に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。

オ

リトルネッロ (ritornello) 形式は、(①) のはじめに好んで用いられた。特に、合奏協奏曲 (コンチェルト・グロッソ) に多くみられ、全合奏で奏される主題が独奏群に奏される楽句をはさんで、A-b-A'-c-A"-d……Aのように反復される。この反復の回数に決まりはない。また、はじめと終わりをのぞくAの調が原則として異なっている点が、(②) との大きな違いである。

- a ①17世紀 ②ロンド形式
- b ①17世紀 ②ソナタ形式
- c ①18世紀 ②ロンド形式
- d ①18世紀 ②ソナタ形式

(2) 次の説明文が示す楽曲の形式を、下のa～dから一つ選びなさい。

カ

主に宗教的な物語を取り扱った独唱 (アリア、レチタティーヴォ)、重唱、合唱、オーケストラからなる演奏会用の劇的音楽作品で、代表的な曲としてヘンデルの「メサイア」などがある。

- a オラトリオ b マドリガル c ミサ d コラール

(3) ポロネーズの説明として正しいものを、次のa～dから一つ選びなさい。

キ

- a 「ドイツの」という意味のフランス語に由来する。弱起 (アウフタクト) で始まるゆるやかな宮廷舞曲。
- b 「走る」というフランス語に由来する。フランスの宮廷舞曲で3拍子である。
- c 3拍子のゆったりとした舞曲。一定の和声進行または低音音型が繰り返される変奏曲形式をもつ。
- d ポーランドの民族舞曲。テンポは比較的ゆるやかで、4分の3拍子の力強いリズムをもつ。

- 3 次の楽譜は、ある楽曲の冒頭部分である。この楽曲に関して、下の(1)～(6)の問いに答えなさい。

(5) この楽曲に関する説明として適切なものを、次の a～d から一つ選びなさい。

シ

- a 「フィンランドの目覚め」を改訂した作品で、1900年のパリ万博において初演された曲である。
- b かつてのチェコ王の居城、ヴィシェフラドの栄華と没落を描いている。
- c 「イギリス」とも呼ばれている作品で、きわめてボヘミア的な親しみやすい内容である。
- d ノルウェー民謡の登場人物ペール・ギュントの冒険にみちた生涯の物語に付された音楽から、演奏会用に編集された組曲。

(6) この楽曲の作曲家と同じ時代に活躍した作曲家を、次の a～d から一つ選びなさい。

ス

- a G. ロッシーニ
- b R. シュトラウス
- c R. シューマン
- d B. ブリテン

第3問 次の(1)～(7)の問いに答えなさい。

(1) 歌唱共通教材の曲名と作曲者名の組み合わせとして誤っているものを、次のa～dから一つ選びなさい。

<曲名>	<作曲者名>
a 「赤とんぼ」	三木露風
b 「花の街」	團伊玖磨
c 「浜辺の歌」	成田為三
d 「早春賦」	中田章

(2) 次の楽譜の曲名と作曲者名の組み合わせとして正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。

<曲名>	<作曲者名>
a 「こがね虫」	中山晋平
b 「靴が鳴る」	弘田龍太郎
c 「たなばたさま」	下総皖一
d 「赤い靴」	本居長世

(3) 「木曾節」(長野県, 岐阜県) で使われている音階を、次のa～dから一つ選びなさい。

a 都節音階	b 律音階
c 民謡音階	d 沖縄音階

(4) 「ホーミー」の説明文として正しいものを、次のa～dから一つ選びなさい。

エ

- a 胸声と高音のファルセットとの急激な転換による唱法で、男声でもソプラノの音域をこえる。
- b 穀物などの種まきの際に、豊作を願って男性が声を合わせて歌う。いわゆるファンファーレ・メロディーといわれるドミソの和音を基本とする合唱。
- c 約150人の男性がかがり火を中心に、5,6重の輪になってぐるりとすわり、手を差しのべたり、リズムを刻むような言葉を唱えながら、体をゆり動かし踊る。
- d ひとり人間が同時に2つの声を出して歌う。男性によって歌われるが、歌詞をもたない。

(5) 次の文は、カンツォーネについて説明したものである。(①)・(②)に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。

オ

イタリアでは、歌、特に(①)のことをカンツォーネという。カンツォーネのルーツは、イタリア南部の都市ナポリで古くから歌われてきたナポレターナ(ナポリの方言による民謡)である。商業港として栄えたナポリでは古くから歌手のコンテストが音楽祭のかたちで行われてきた。1861年にイタリアが統一されてからは、ナポレターナが広くイタリア人の愛唱歌となった。その一方で、標準語によるカンツォーネの要求が高まっていった。北イタリアの観光地(②)で1951年から行われている「(②)音楽祭」では、世界的なヒット曲の数々が世に送り出された。日本では、ナポレターナも含めてカンツォーネと呼んでいる。

- a ① ポピュラー・ソング ② サンレモ
- b ① 古典歌曲 ② ジェノヴァ
- c ① ワーク・ソング ② ヴェネツィア
- d ① フォーク・ソング ② ミラノ

(6) 次の楽譜は、あるミュージカルで用いられる曲の一部である。このミュージカルの作品名と作曲者名の組み合わせとして正しいものを、下の a～d から一つ選びなさい。

<作品名>

<作曲者名>

- | | |
|--------------------|------------------|
| a 「ウエスト・サイド物語」 | レナード・バーンスタイン |
| b 「美女と野獣」 | アラン・メンケン |
| c 「キャッツ」 | アンドリュー・ロイド・ウェッバー |
| d 「サウンド・オブ・ミュージック」 | リチャード・ロジャーズ |

(7) 次の①～④の「作品名」(作曲家)が古い時代順に並んでいるものを、下の a～d から一つ選びなさい。

- ① 「カルメン」(G.ビゼー)
- ② 「ウィリアム・テル」(G.ロッシーニ)
- ③ 「ヴォツェック」(A.ベルク)
- ④ 「ドン・ジョヴァンニ」(W.A.モーツァルト)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| a ③ → ④ → ① → ② | b ④ → ② → ① → ③ |
| c ③ → ④ → ② → ① | d ④ → ① → ② → ③ |

(3) オーボエの説明として誤っているものを、次のa～dから一つ選びなさい。

ウ

- a 原義はフランス語のオー（高い）とボワ（木）；すなわち「高音の（または音が大きい）木管楽器」であるとされる。
- b メカニズムはフランス型とドイツ型に大別され、今日ではフランス型の「コンセル・ヴァトワール・システム」が主流である。
- c オーボエと同じダブル・リードの楽器として、コーラングレ（イングリッシュ・ホルン）がある。
- d 管弦楽の木管セクションに定席を占めており、C管で記譜は実音の1オクターブ下に書かれる。

(4) 次の①～④の「作品名」（作曲家）が古い時代順に並んでいるものを、下のa～dから一つ選びなさい。 エ

- ①「無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 第2番 イ短調 作品27-2」（E.イザイ）
- ②「ヴァイオリン・ソナタ第1番」（A.コレッリ）
- ③「弦楽四重奏曲 第67番 ニ長調 作品64-5」（J.ハイドン）
- ④「ピアノ三重奏曲 第1番 ロ長調 作品8」（J.ブラームス）

- a ③ → ④ → ② → ①
- b ② → ③ → ④ → ①
- c ① → ② → ③ → ④
- d ③ → ② → ① → ④

(5) 次の楽器のうち、体鳴楽器に該当するものを、次のa～dから一つ選びなさい。

オ

- a ツインバロム
- b バラフォン
- c ジェンベ
- d ケーン

- (6) 次の文は、メヘテルハーネについて説明したものである。文中の (①)・(②) に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下の a～d から一つ選びなさい。

メヘテルハーネはオスマン帝国時代に生まれた軍楽隊。リード楽器の (①) をはじめ、ラッパ類、太鼓類、金属の鳴り物などで編成され、式典、祭礼、各種競技などの場で演奏された。18世紀初頭には (②) で広く知られるようになり、トルコ行進曲など「トルコふう」の音楽を生み出すきっかけとなった。

- a ①ズルナ ②ヨーロッパ
b ①ジル ②ロシア
c ①ボル ②アメリカ
d ①ナッカーラ ②インド

- (7) 次の文は、尺八の奏法について説明したものである。文中の (①)・(②) に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下の a～d から一つ選びなさい。

尺八の吹奏には、唇のゆるみ、しまり、あごのつき出し、引き具合などが微妙に音律と音色に作用する。(①) は、歌口に当てたあごをやや上に突き出して音高を上げる奏法で、(②) は、歌口に当てたあごを頭ごと手前に引いて音高を下げる奏法。

- a ①カリ ②ユリ
b ①メリ ②カリ
c ①カリ ②メリ
d ①メリ ②フリ

(8) 次の箏の楽譜（冒頭部分）の曲名を，下の a～d から一つ選びなさい。

ク

- a 「六段の調」から“四段”
- b 「姫松」
- c 「虫づくし」
- d 「さくらさくら」

(9) 歌舞伎（長唄）で用いられる楽器の管楽器・打楽器・弦楽器の組み合わせとして正しいものを、次のa～dから一つ選びなさい。

	<管楽器>	<打楽器>	<弦楽器>
a	竜笛	楽太鼓	楽琵琶
b	篠笛	締太鼓	三線
c	能管	大鼓	三味線
d	尺八	箏	三味線

【選択問題 中学校】

第5問 平成29年3月告示の中学校学習指導要領 音楽について、次の(1)～(5)の問いに答えなさい。

(1) 次の文は、「第1 目標」の一部である。(①)～(④)に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。

(3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する(①)を育むとともに、音楽に対する(②)を豊かにし、音楽に親しんでいく(③)を養い、豊かな(④)を培う。

- | | | | | |
|---|-----|-----|-----|-----|
| a | ①心情 | ②情操 | ③態度 | ④感性 |
| b | ①心情 | ②感性 | ③態度 | ④情操 |
| c | ①態度 | ②情操 | ③心情 | ④感性 |
| d | ①態度 | ②感性 | ③心情 | ④情操 |

(2) 次の文は、「第2 各学年の目標及び内容〔第2学年及び第3学年〕 2 内容 B 鑑賞(1)」の事項の一部である。(①)～(③)に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。

(1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア (略)

イ 次の(ア)から(ウ)までについて理解すること。

(ア) 曲想と(①)との関わり

(イ) 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、(②)との関わり

(ウ) 我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の(③)

- | | | | |
|---|---------|--------|---------|
| a | ①音楽の仕組み | ②生活や社会 | ③多様性 |
| b | ①音楽の仕組み | ②他の芸術 | ③特質や雰囲気 |
| c | ①音楽の構造 | ②生活や社会 | ③特質や雰囲気 |
| d | ①音楽の構造 | ②他の芸術 | ③多様性 |

- (3) 次の文は、「第2 各学年の目標及び内容〔第1学年〕2 内容 A表現(1)歌唱」の事項の一部である。(①)～(③)に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。

(1) 歌唱の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア (略)

イ 次の(7)及び(イ)について理解すること。

(7) (略)

(イ) 声の音色や響き及び言葉の特性と(①)との関わり

ウ 次の(7)及び(イ)の技能を身に付けること。

(7) 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、(②)、身体の使い方などの技能

(イ) 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら(③)歌う技能

- a ①曲種に応じた発声 ②強弱の工夫 ③音程を合わせて
- b ①曲種に応じた発声 ②言葉の発音 ③他者と合わせて
- c ①曲想 ②言葉の発音 ③音程を合わせて
- d ①曲想 ②強弱の工夫 ③他者と合わせて

- (4) 次の文は、「第3 指導計画の作成と内容の取扱い 2 (1)イ」の事項である。(①)～(③)に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。

イ 音楽によって喚起された自己のイメージや感情、音楽表現に対する思いや意図、音楽に対する評価などを伝え合い(①)など、音や音楽及び(②)によるコミュニケーションを図り、音楽科の特質に応じた(③)を適切に位置付けられるよう指導を工夫すること。

- a ①共感する ②言葉 ③言語活動
- b ①共感する ②身体表現 ③見方・考え方
- c ①認め合う ②言葉 ③見方・考え方
- d ①認め合う ②身体表現 ③言語活動

- (5) 次の文は、「第3 指導計画の作成と内容の取扱い 2 (1) カ」の事項である。
(①) ~ (③) に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下の a ~ d から一つ選びなさい。

カ 自己や他者の著作物及びそれらの著作者の (①) を尊重する態度の形成を図るとともに、必要に応じて、音楽に関する (②) について触れるようにすること。また、こうした態度の形成が、音楽文化の (③)、発展、創造を支えていることへの理解につながるよう配慮すること。

- | | | | |
|---|--------|---------|-----|
| a | ①創造性 | ②著作権の意義 | ③尊重 |
| b | ①法的な権利 | ②著作権の意義 | ③継承 |
| c | ①創造性 | ②知的財産権 | ③継承 |
| d | ①法的な権利 | ②知的財産権 | ③尊重 |

【選択問題 高等学校】

第5問 平成30年3月告示の高等学校学習指導要領 芸術 音楽Ⅰについて、次の(1)～(5)の問いに答えなさい。

(1) 次の文は、「1 目標」の一部である。(①)～(④)に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。

- (2) 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を(①)しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
 (3) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する(②)を育むとともに、(③)を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく(④)を養う。

- a ①評価 ②心情 ③感性 ④態度
 b ①分析 ②心情 ③関心 ④態度
 c ①評価 ②態度 ③関心 ④情操
 d ①分析 ②態度 ③感性 ④情操

(2) 次の文は、「2 内容 A表現 (3) 創作」の事項の一部である。(①)～(③)に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。

(3) 創作

創作に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 創作表現に関わる(①)を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって創作表現を創意工夫すること。

イ 音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの(②)、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、(③)イメージと関わらせて理解すること。

- a ①思いや意図 ②縦と横の関係 ③表したい
 b ①思いや意図 ②響き ③実感を伴った
 c ①知識や技能 ②縦と横の関係 ③実感を伴った
 d ①知識や技能 ②響き ③表したい

- (3) 次の文は、「2 内容 A表現 (1) 歌唱」の事項の一部である。(①)～(③)に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下の a～d から一つ選びなさい。

ウ

(1) 歌唱

歌唱に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア (略)

イ 次の (ア) から (ウ) までについて理解すること。

(ア) (略)

(イ) 言葉の特性と (①) との関わり

(ウ) (略)

ウ 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、次の (ア) から (ウ) までの技能を身に付けること。

(ア) 曲にふさわしい発声、(②), 身体の使い方などの技能

(イ) (③) を意識して歌う技能

(ウ) (略)

- a ①曲種に応じた発声 ②強弱の工夫 ③正しい音程
 b ①曲種に応じた発声 ②言葉の発音 ③他者との調和
 c ①曲想 ②言葉の発音 ③正しい音程
 d ①曲想 ②強弱の工夫 ③他者との調和

- (4) 次の文は、「3 内容の取扱い (7)」の事項である。(①)～(③)に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下の a～d から一つ選びなさい。

エ

(7) 内容の「A表現」の (3) の指導に当たっては、(①) に音を出しながら (②) を試すなど、音を音楽へと構成することを重視するとともに、作品を (③) する方法を工夫させるものとする。

- a ①主体的 ②音のつながり方 ③発表
 b ①即興的 ②音の重なり方 ③発表
 c ①主体的 ②音の重なり方 ③記録
 d ①即興的 ②音のつながり方 ③記録

- (5) 次の文は、「3 内容の取扱い (8)」の事項である。(①) ~ (③) に該当する語句の組み合わせとして正しいものを、下の a ~ d から一つ選びなさい。

オ

(8) 内容の「A表現」及び「B鑑賞」の指導に当たっては、思考力、判断力、表現力等の育成を図るため、音や音楽及び(①)によるコミュニケーションを図り、芸術科音楽の特質に応じた(②)を適切に位置付けられるよう指導を工夫する。なお、内容の「B鑑賞」の指導に当たっては、曲や演奏について根拠をもって(③)する活動などを取り入れるようにする。

- a ①文字 ②見方・考え方 ③批評
b ①文字 ②言語活動 ③分析
c ①言葉 ②言語活動 ③批評
d ①言葉 ②見方・考え方 ③分析

【選択問題 特別支援学校】

第5問 次の1～4の問いに答えなさい。

- 1 次の文は、令和3年6月に文部科学省より示された「障害のある子供の教育支援の手引～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～」の「第1編 障害のある子供の教育支援の基本的な考え方」の一部である。文中の ～ に該当する語句を、それぞれ下の a～d から一つ選びなさい。

合理的配慮は、「障害者の権利に関する条約」第2条の定義において提唱された概念であり、その定義に照らし、我が国の学校教育においては、中央教育審議会初等中等教育分科会報告において、合理的配慮とは、「障害のある子どもが、他の子どもと に『教育を受ける権利』を享有・行使することを確保するために、学校の設置者及び学校が必要かつ適当な変更・調整を行うことであり、障害のある子供に対し、その状況に応じて、学校教育を受ける場合に に必要とされるもの」であり、「学校の設置者及び学校に対して、体制面、財政面において、均衡を失した又は過度の を課さないもの」と定義されている。なお、障害者の権利に関する条約において、合理的配慮の否定は、障害を理由とする に含まれるとされていることに留意する必要がある。

- | | | | | |
|--------------------------------|--------|-------|-------|------|
| <input type="text" value="ア"/> | a 平等 | b 均等 | c 対等 | d 同等 |
| <input type="text" value="イ"/> | a 習熟度別 | b 学年別 | c 課題別 | d 個別 |
| <input type="text" value="ウ"/> | a 対応 | b 負担 | c 義務 | d 責任 |
| <input type="text" value="エ"/> | a 差別 | b 区別 | c 分離 | d 偏見 |

- 2 次の表は、令和3年10月に文部科学省より示された「特別支援教育資料（令和2年度）」の「第1部 データ編」の表の一部である。表中の ・ に該当する語句を、それぞれ下の a～d から一つ選びなさい。

出典：「学校基本調査」（文部科学省）
※中等教育学校の特別支援学級はなし。

- a 病弱・身体虚弱 b 自閉症・情緒障害 c 知的障害 d 言語障害

- 3 文部科学省の「学校教育法施行規則の一部を改正する省令等の公布について（通知）（平成28年12月9日）」にある平成30年4月1日より施行された「通級による指導」に関する内容に該当するものを、次の a～d から一つ選びなさい。

- a 知的障害者を対象とする通級による指導の制度化
b 情緒障害者を対象とする通級による指導の制度化
c 幼稚園における通級による指導の制度化
d 高等学校における通級による指導の制度化

4 平成29年4月告示の「特別支援学校 小学部・中学部学習指導要領 第7章 自立活動」に記載されている自立活動の内容について、次の(1)～(6)の区分に該当する項目を、それぞれ下のa～cから一つ選びなさい。

(1) 健康の保持	<input type="text" value="ク"/>	(2) 心理的な安定	<input type="text" value="ケ"/>
(3) 人間関係の形成	<input type="text" value="コ"/>	(4) 環境の把握	<input type="text" value="サ"/>
(5) 身体の動き	<input type="text" value="シ"/>	(6) コミュニケーション	<input type="text" value="ス"/>

- a 身体各部の状態の理解と養護に関すること。
 b 感覚や認知の特性についての理解と対応に関すること。
 c 日常生活に必要な基本動作に関すること。

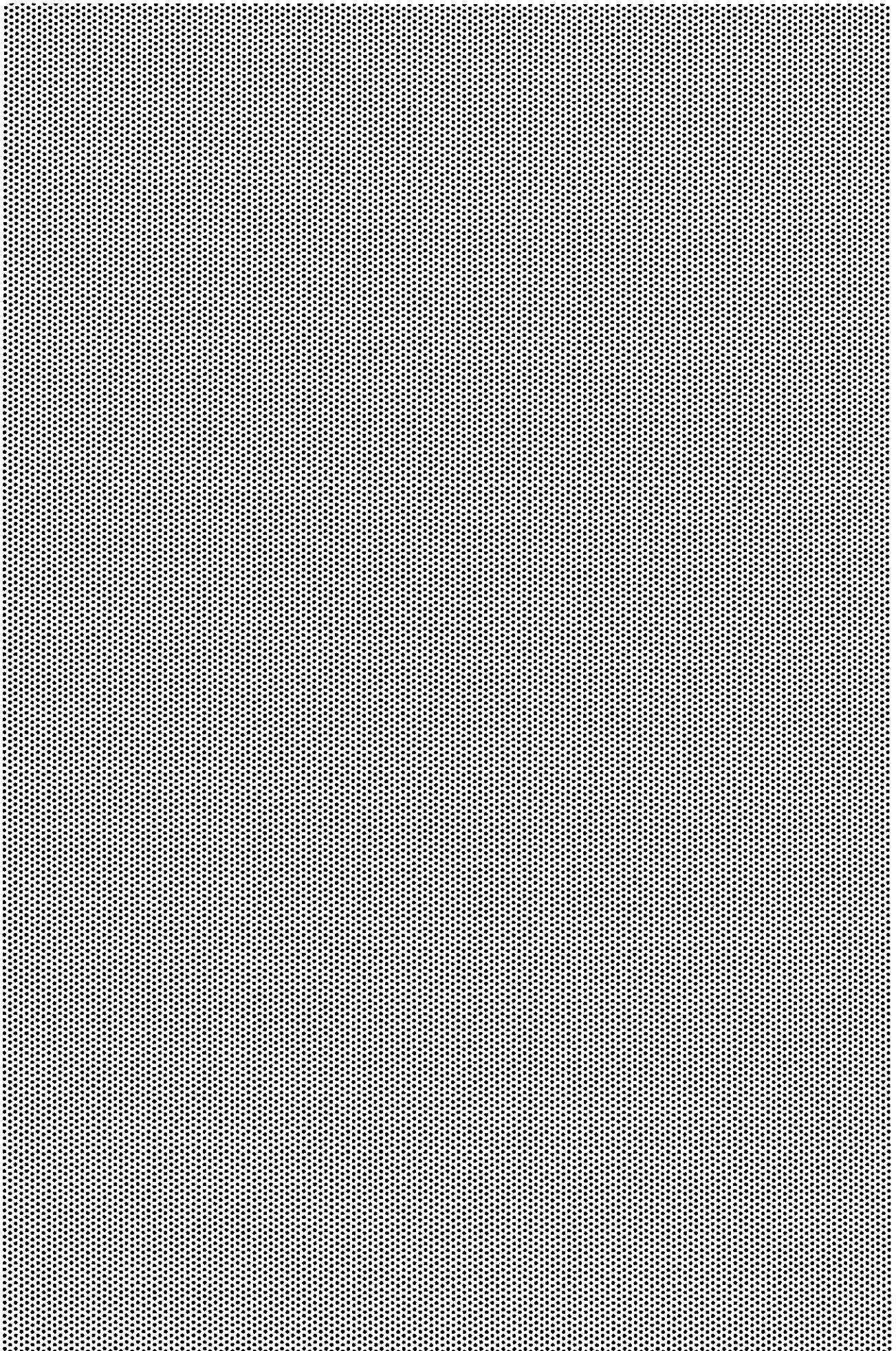
- a 状況の理解と変化への対応に関すること。
 b 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること。
 c 自己の理解と行動の調整に関すること。

- a 情緒の安定に関すること。
 b 他者の意図や感情の理解に関すること。
 c コミュニケーション手段の選択と活用に関すること。

- a 障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関すること。
 b 身体の移動能力に関すること。
 c 感覚の補助及び代行手段の活用に関すること。

- a 姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること。
 b 保有する感覚の活用に関すること。
 c 生活のリズムや生活習慣の形成に関すること。

- a 集団への参加の基礎に関すること。
 b 言語の形成と活用に関すること。
 c 健康状態の維持・改善に関すること。



- 5 解答は、解答用紙（マークシート）の解答欄をマークしてください。例えば、解答記号 と表示のある問いに対して b と解答する場合は、下の（例）のようにアの解答欄の b をマークしてください。

（例）

ア	<input type="radio"/> a	<input checked="" type="radio"/> b	<input type="radio"/> c	<input type="radio"/> d	<input type="radio"/> e	<input type="radio"/> 0	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5	<input type="radio"/> 6	<input type="radio"/> 7	<input type="radio"/> 8	<input type="radio"/> 9	<input type="radio"/> .	<input type="radio"/> -	<input type="radio"/> ±
---	-------------------------	------------------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------

なお、一つの解答欄に対して、二つ以上マークしないでください。

- 6 筆記審査（専門教養）が終了した後、解答用紙（マークシート）のみ回収します。監督者から指示があれば、この問題冊子を、各自、持ち帰ってください。

